

電子納品チェッカー

鹿児島県版

操作説明書

【電子納品チェッカー操作説明書】

-目次-

1. はじめに	- 3 -
はじめに	- 3 -
注意事項	- 3 -
マニュアルの表記規則	- 3 -
2. 操作方法	- 4 -
起動方法	- 4 -
成果品データのチェック開始まで	- 5 -
チェック結果の表示	- 9 -
簡易表示	- 9 -
詳細表示	- 10 -
画面の見方	- 11 -
全体の結果を見る	- 11 -
個別の結果を見る	- 11 -
詳細表示でエラー箇所とXMLへの記述内容を見る	- 11 -
チェック結果の印刷	- 12 -

1. はじめに

はじめに

電子納品チェッカーは、作成された電子納品データが要領・基準(案)に準じているかチェックするためのプログラムです。

電子納品チェッカーでは、電子納品データのメディア構成やデータファイルである XML の内容に対してチェックを実施し、その結果を画面上に表示します。

また、チェック結果はプリンタでの出力や、CSV 形式で保存などといった形式で出力できます。

注意事項

- 本ソフトウェアは、鹿児島県の電子納品成果品のチェックに使用します。
- 電子納品チェッカーでは、電子納品データにあるオリジナルファイルの内容についてはチェックを行いません。
P21 や SXF のファイル形式のチェックには、専用のチェックソフトがありますのでそちらをご利用ください。

マニュアルの表記規則

マニュアルをどのようなルールで書かれているかを記述します。

例：

特定の語句や画面上の文字などは、・・・「○x」画面
カギ括弧で表記されます。

画面上の操作ボタンなどは、括弧で表記され・・・[○x]ボタン
ます。

2. 操作方法

起動方法

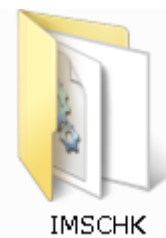
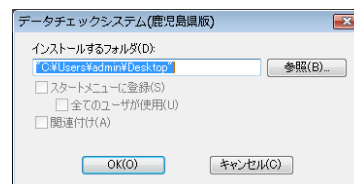
- ① ダウンロードしたファイルは、自己解凍形式の圧縮ファイルになっています。
ファイルをダブルクリックすると解凍が開始されます。



注意1. ダウンロードしたファイルのファイル名は、操作手順書と異なっている場合があります。

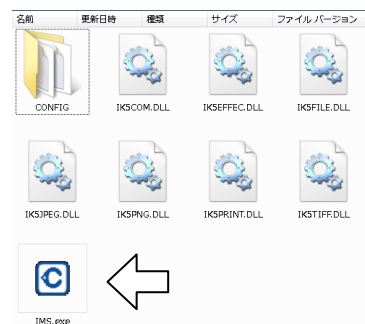
注意2. ご利用になられている Windows の種類によっては、解凍が開始される前に「警告」が表示される場合がありますが、本ファイルに問題はありませんので、そのまま[実行]してください。

- ② 解凍が開始されると、解凍先を問い合わせる画面が表示されます。
[OK]ボタンを押すとダウンロードしたファイルと同じ場所に、「IMSCHK」フォルダを作成してそこにプログラムを解凍します。
(解凍には少々時間を要します。)



※IMSCHK フォルダが作成されます。

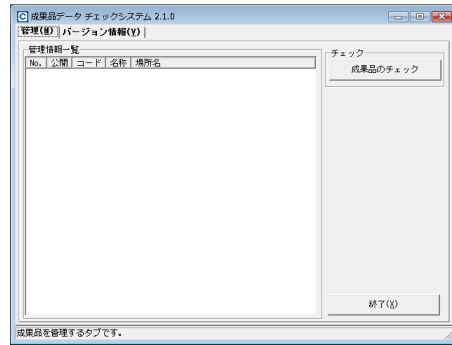
- ③ 「IMSCHK」フォルダを開くと、IMS.exe ファイルが有りますので、IMS.exe ファイルをダブルクリックすると電子納品チェッカーが起動します。



※IMSCHK フォルダの中

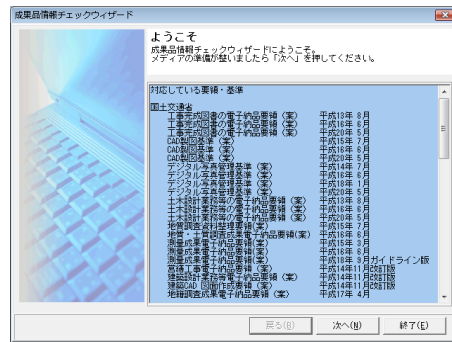
成果品データのチェック開始まで

- ① 本ソフトを起動するとメイン画面が表示され、自動的に [成果品のチェック] ボタンが押され、「成果品情報チェックウィザード」画面が表示されます。



- ② 「成果品情報チェックウィザード」画面の「ようこそ」では、電子納品チェッカーにてチェック可能な要領・基準 (案) が表示されます。
[次へ] ボタンを押してウィザード画面を進めます。

成果品情報チェックウィザード
「ようこそ」



- ③ 「取り込む情報の要領基準案の指定」では、検査対象となる成果品データをどの要領・基準 (案) のルールでチェックするか指定します。

[次へ] ボタンを押してウィザード画面を進めます。

成果品情報チェックウィザード
「取り込む情報の要領基準案の指定」



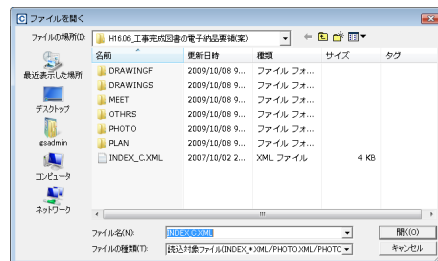
- ④ 「チェックする成果品の指定」では、検査対象となる成果品データを指定します。

成果品情報チェックウィザード
「チェックする成果品の指定」



[参照]ボタンを押して、「ファイルを開く」画面を表示します。

「ファイルを開く」画面から、査対象となる成果品データのインデックスファイルを選択して、[開く]ボタンを押します。



インデックスファイルとは

要領・基準(案)に準じて作成された成果品データには、必ず成果品データの内容が記述された拡張子がXMLのファイルが存在しています。

下記表に一例を記述していますので参考ください。

要領・基準(案)	インデックスファイル
工事完成図書	INDEX_C.XML
土木設計業務	INDEX_D.XML
工事完成図書 電気通信設備編	INDEX_EC.XML
土木設計業務等 機械設備工事編	INDEX_ED.XML
工事完成図書 機械設備工事編	INDEX_MC.XML
土木設計業務等 機械設備工事編	INDEX_MD.XML
デジタル写真管理情報 基準(案)	PHOTO.XML

選択したインデックスファイルが、本ソフトにてチェック対象の成果品データなら右図のように一覧にチェック対象となる要領・基準（案）とその管理項目が表示されます。

[次へ]ボタンを押してウィザード画面を進めます。



注意1. 一覧に表示されるチェック対象となる要領・基準（案）が意図したものと異なる場合には、「成果品データのチェック開始まで」の手順③まで戻り、「自動選択」のチェックを外し、チェック対象となる要領・基準（案）を選択して、先に進んでください。

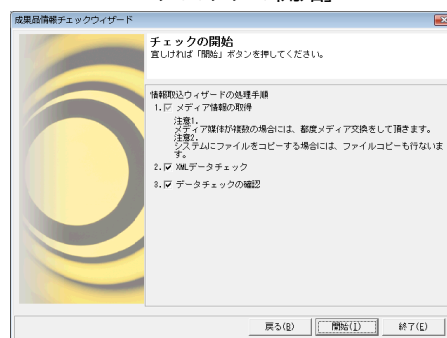
- ⑤ 「図面の設計・工事共通の対象工種の指定」では、図面の設計・工事共通の対象工種を指定します。
[次へ]ボタンを押してウィザード画面を進めます。

成果品情報チェックウィザード 「図面の設計・工事共通の対象工種の指定」



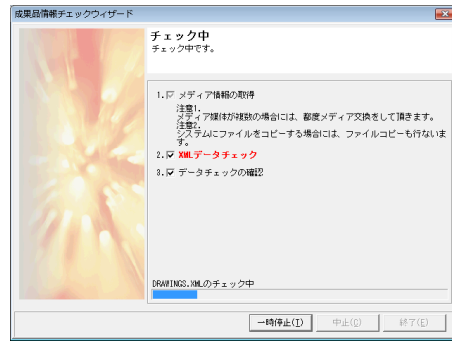
- ⑥ チェックするための設定が一通り終わると、「チェックの開始」が表示されます。
[開始]ボタンを押してチェックを開始します。

成果品情報チェックウィザード 「チェックの開始」

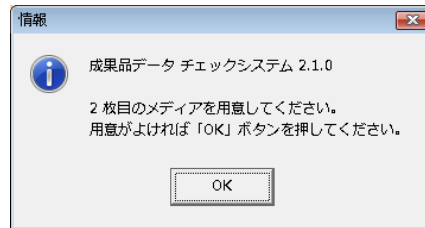


- ⑦ チェックを開始します。

成果品情報チェックウィザード 「チェック中」

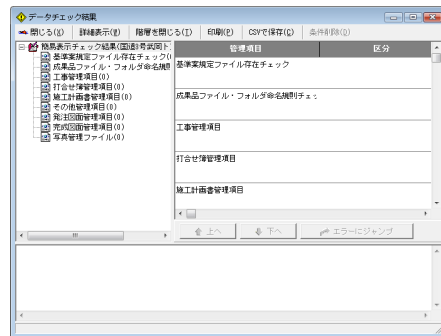


成果品データが複数のメディアに分割されている場合には、右図の画面が表示されますので、成果品データをCD-ROMなどで作成している場合には、画面にある2枚目のメディアと差替えた後に、「OK」ボタンを押してください。



- ⑧ データチェックが正常に行われると、「データチェック結果」画面が表示されチェック結果を確認出来ます。

データチェック結果



チェック結果の表示

成果品データのチェックを行った場合に表示する、チェック結果の確認画面について説明します。

1. 次の方法でデータチェック結果画面を表示します。
 (*エラー数は管理項目名右の(カッコ)内に表示されます)
 * データチェックの際データチェックを行い、取り込みの確認画面で「データチェック結果の確認」ボタンをクリック
2. 左上部に表示された管理項目をクリックすると、右側にエラー内容の詳細が表示されます。

簡易表示



- 閉じる チェック結果画面を終了します。
- 詳細表示 階層表示をチェックした成果品ファイル (XML) の構造で詳細に表示します。
- 階層を閉じる 階層表示の「+」をクリックすることにより開かれた、管理項目の階層を一度に閉じるためのボタンです。
- 印刷 チェック結果レポートを印刷することができます。
- CSV で保存 チェック結果レポートを CSV ファイルとして任意の場所に出力することができます。
- 条件削除 ※本ソフトでは使用できません。

詳細表示

No	項目名	内容
1	メディア番号	半角数字 以外の文字が
2	メディア番号	決められた値が入力されて
3	メディア番号	入力値の書式が不正です。
4	メディア総枚数	半角数字 以外の文字が選
5	メディア総枚数	入力値の書式が不正です。
6	透明帯幅基準	土未200005-010
7	透明帯幅基準	決められた値が入力されて
8	宛先フォルダ名	DRAWINGS0
9	宛先フォルダ名	8文字を超えて入力されて
10	宛先フォルダ名	決められた値が入力されて
11	宛先フォルダ名	DRAWINGS0
12	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEED0
13	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEED0
14	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEED0
15	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	DRAWINGS/SPEED0
16	打合せ簿フォルダ名	MEET0
17	打合せ簿フォルダ名	MEET0
18	打合せ簿フォルダ名	MEET0
19	打合せ簿フォルダ名	MEET0

- 閉じる チェック結果画面を終了します。
- 簡易表示 階層表示をチェックした成果品ファイル (XML) の管理項目で表示します。
- 階層を閉じる 階層表示の「+」をクリックすることにより開かれた、管理項目の階層を一度に閉じるためのボタンです。
- 上へ 一覧で選択されている行の、一つ上のエラーに移動します。
- 下へ 一覧で選択されている行の、一つ下のエラーに移動します。
- エラーにジャンプ 一覧に表示されているエラー内容を選択して、“エラーにジャンプ”ボタンを押すと、階層表示で表示されているXMLの要素に移動することができます。XMLの要素を選択すると、下部のテキストエリアに、タグで囲まれた該当XMLデータの内容が表示されます。
- 印刷 チェック結果レポートを印刷することができます。
- CSVで保存 チェック結果レポートをCSVファイルとして任意の場所に出力することができます。
- 条件削除 ※本ソフトでは使用できません。

画面の見方

全体の結果を見る



階層表示で表示されている、一番上の項目を選択すると、全体のエラー数などが右側に表示されます。

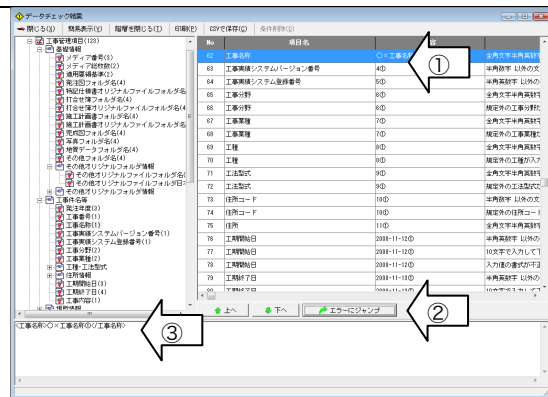
個別の結果を見る



階層表示で表示されている、2番以降を選択すると管理項目単位のエラー内容が右側に一覧で表示されます。

※エラーが無い場合には表示されません。

詳細表示でエラー箇所とXMLへの記述内容を見る



詳細表示では、階層表示をチェックした成果品ファイル (XML) の構造で詳細に表示し、その内容を確認出来ます。

- ① エラー内容を右側に一覧で表示し、行を選択します。
- ② [エラーにジャンプ]ボタンを押すと該当する階層表示の項目が選択されます。
- ③ XML の記述内容が表示されます。

「上へ」「下へ」ボタンを利用すれば、連続してエラー内容を確認できます。

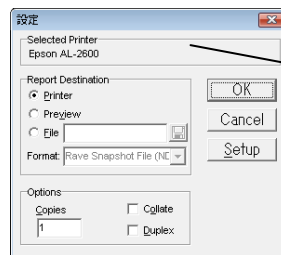
チェック結果の印刷

- ① [印刷]ボタンを押すと、「設定」画面が表示されます。



- ② 出力先のプリンタを設定し、[OK]ボタンで印刷が開始されます。

プリンタを変更する場合には、[Setup]ボタンを押すと、「プリンタの設定」画面が表示されますのでプリンタを選択してください。



出力先の
プリンタ

印刷プレビューを見る場合には、「Preview」にチェックを入れて、[OK]ボタンを押してください。